

さまざまな決定状況におけるハミ出し現象を漁るのが日課となっている。

そんな小生にとって「人間なんてものはさほど合理的なものでもなく、多くの事象が存外単なる偶然の積み重ねの結果なのかも知れない」という考え方は、熾感的である。ともかく、世界の不条理性を考慮に入れた意思決定論を模索している。J. G. March and J. P. Olsen, *Ambiguity and Choice in Organizations*, 1976, はこうした定位をもつ研究の最初の成書であろう(関心のある方は、法政大学経営学会“経営志杯”第17巻第4号所収の小生らによる書評を参照されたい)。

四十を前にして感うことしきりのこのごろである。

名鉄交通(株) 副社長 村手 光彦

伊勢湾台風の年(昭和34年)に日科技連の講習を受けて

ORマンの仲間入りをした企画・合理化屋時代、私鉄としては初めてコンピュータ(H-3010)を導入して、みずからプログラムやオペレーションに没頭した電算部長時代が昨日のこのようですが、今はなぜか857両の車と2200人の従業員をもつタクシー会社の副社長です。

経験3年あまりにして、タクシー経営の要点は乗務員1人1人のハングリーな意欲の維持、いわば人間心理の問題にあることを身にしみて理解できたような気がします。ORの問題がたくさんあり、自社のオペレーションを決定できる立場と、非常勤会社の大型コンピュータ(H-M170)をタダで使える立場をもっていますが、自分のチェのなさを棚に上げて、有能な頭の柔らかいORワーカーの不足を嘆いています。この種のORにご関心ある方々のご連絡、ご指導をお願いいたします。

帰宅すれば、マイコンのハードとソフトをいじくり廻して楽しんでいる毎日で、多少なりとも頭の老化が遅くなると良いがと思っています。

会合記録

()内は出席者数
庶務幹事会 7月2日(木)(3)
編集委員会 7月3日(金)(12)
IAOR委員会 7月10日(金)(2)
研究普及委員会 7月17日(金)(6)

編集委員会 8月5日(水)(12)
庶務幹事会 8月27日(木)(4)

入退会

(56.4.22~56.6.16)

●退会(正会員)
伊藤 栄明 下田 長雄 富澤

健一 大久保和正 殿岡 元治
友藤 寿夫

学生会員 S. M. A. Halim

計報 水谷一雄氏(神戸大学名誉教授) 昭和56年9月12日急逝されました。享年83才。謹しんでお悔み申し上げます。

編集後記 ▶大地震の噂される中で無事9月も過ぎました。天災よりも人災ともいふべき騒動が気になります。ポーランド、リビア沖、イラン、北朝鮮、カンボジア…キナ臭い話が新聞紙上を賑わしています。私事になりますが、アセアン諸国を歴訪する機会を得て「何でも見てやろう」の精神で回ってきましたが、各国とも防衛軍勢力の強化および国民への防衛意識の徹底ぶりが目につきました。空腹を堪えながら、現在の体制を守ることに汲々としている様子に哀れさを感じるとともに、日本

はあまりにも平和だと改めて実感しました。日本人は紛争に対して無頓着に過ぎるのではないだろうか?

▶折りしも本号の特集は「ゲーム理論」。石油、衛星通信等の国際的問題を扱った事例も紹介されています。今後より一層の発展により紛争が回避され、無益な血が、そして多くの涙が流されなくなることが望まれます。

▶大山達雄氏の「マトロイド理論」は筆者の都合により今回は休載します。来月から再開しますのでご期待ください。(M)

オペレーションズ・リサーチ

昭和56年10月号 第26巻(新シリーズ第6巻) 10号 通巻250号
代表者 松田 武彦
発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会
東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル
(電話 03-815-3351~2) ☎ 113
編集人 小林 竜一
発売所 株式会社 日科技連出版社
東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2 ☎ 151

本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ

定価 850円(郵送料含)年間予約購読料 9600円(郵送料含)

本誌への広告お申し込みは明報社(571-2548)、日経弘報社(563-2241)へ